

<総計欄> 5月の仕入量は142,816トン前月比-7.7%、前年同月比-19.7%、販売量は145,069トン前月比-12.7%、前年同月比-18.4%。仕入量は前月比減少、前年同月比著減。販売量は前月比、前年同月比とも著減しました。在庫量は212,682トン前月比-1.0%、前年同月比-18.8%、在庫は前月比減少、前年同月比は著減しました。在庫率は146.6ポイントと上昇しました。

5月の販売量は、過去に経験したことがないような最も悪い結果でした。仕入を抑えているにもかかわらず、販売の悪さで在庫率は17.3ポイントも上昇しています。もともと低調だった需要に加え、新型コロナの影響で更に悪い状況となっています。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼4.5%減少、東京4.6%減少、大阪2.3%減少、愛知は10.2%著減しました。H形鋼は17.7%著減、東京16.6%著減、大阪17.4%著減、愛知20.0%著減となっています。その他品種では山形鋼14.6%著減、溝形鋼23.9%著減、コラム13.7%著減、C形鋼17.1%著減しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼2.2%減少、東京±0、大阪4.0%減少、愛知4.8%減少しています。H形鋼は1.0%減少、東京0.6%微減、大阪2.3%減少、愛知1.5%増加しています。その他品種は山形鋼3.5%減少、溝形鋼0.2%微増、コラム1.6%増加、C形鋼1.4%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

